

予 算 の 概 要

1 業務の予定量

・給水戸数	333,000 戸	前年度比	2,000 戸	+0.6%
・年間配水量	96,866,000 m ³	前年度比	+ 372,000 m ³	+0.4%
・年間給水量	91,732,000 m ³	前年度比	+ 352,000 m ³	+0.4%
・有収率	94.7 %	前年度比	0.0 P	

2 予算規模及び予算の概要

(1) 総事業費

(単位:千円)

令和3年度 A	令和2年度 B	前年度比	
		A-B	A/B
28,066,923	28,052,388	14,535	100.1%

(2) 収益的収入及び支出

(議案書第3条関係・・・47ページ)

(単位:千円)

	令和3年度 A	令和2年度 B	前年度比	
			A-B	A/B
事業収益	17,212,247	17,452,644	△ 240,397	98.6%
営業収益	15,574,471	15,483,488	90,983	100.6%
営業外収益	1,404,258	1,411,525	△ 7,267	99.5%
特別利益	233,518	557,631	△ 324,113	41.9%
事業費	15,493,148	15,798,622	△ 305,474	98.1%
営業費用	14,511,558	14,555,007	△ 43,449	99.7%
営業外費用	767,887	850,497	△ 82,610	90.3%
特別損失	208,703	388,118	△ 179,415	53.8%
予備費	5,000	5,000	—	100.0%
差引	1,719,099	1,654,022	65,077	103.9%
純利益(税抜)	(959,232)	(911,416)	(47,816)	(105.2%)

(3) 資本的収入及び支出

(議案書第4条関係・・・48ページ)

(単位:千円)

	令和3年度 A	令和2年度 B	前年度比	
			A-B	A/B
資本的収入	4,720,306	4,388,471	331,835	107.6%
企業債	3,694,000	3,669,000	25,000	100.7%
国庫補助金	335,610	284,237	51,373	118.1%
出資金	412,000	155,000	257,000	265.8%
固定資産売却代金	1	1	—	100.0%
消火栓設置負担金	71,445	64,108	7,337	111.4%
補償金	201,250	210,125	△ 8,875	95.8%
投資償還金	6,000	6,000	—	100.0%
資本的支出	12,573,775	12,253,766	320,009	102.6%
建設改良費	9,344,663	9,125,135	219,528	102.4%
企業債償還金	3,229,112	3,128,631	100,481	103.2%
差引	△ 7,853,469	△ 7,865,295	11,826	99.8%

資本的収支不足額 7,853,469 千円は、

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| ① 当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 | 748,303 千円 |
| ② 当年度損益勘定留保資金 | 5,161,892 千円 |
| ③ 建設改良積立金 | 1,943,274 千円 で補てんする。 |

3 主な事業計画

(単位:千円)

施策等		事業費	事業の概要
安全	水質管理の充実・強化	77,253	○ 水質管理体制の強化 77,253 <ul style="list-style-type: none"> ・水質検査機器の適切な維持管理 ・水質検査機器の計画的更新及び整備
強靱	浄配水施設の計画的更新及び災害対策	1,115,783	○ 青山浄水場施設整備事業(4カ年継続事業) 11,000 <ul style="list-style-type: none"> ・構内水管布設工事(青山浄水場) ○ 浄配水施設の更新及び整備 1,104,783 <ul style="list-style-type: none"> ・ろ過池3号表洗管更新工事(青山浄水場) ・濃縮槽1号掻寄機駆動部更新工事(阿賀野川浄水場) ・場内監視カメラ更新工事(阿賀野川浄水場) ・ろ過池5～8号逆洗弁更新工事(阿賀野川浄水場) ・監視制御設備機能増設工事(満願寺浄水場) ・管理館空気調和設備更新工事(巻浄水場) ・ろ過池1・2号制御盤更新工事(巻浄水場) ・電気計装設備更新工事(長峰配水場他) ・配水池長寿命化工事(長峰配水場) ・機械設備更新工事(長峰配水場) <p style="text-align: right;">他</p>
	管路施設の計画的更新及び災害対策	6,615,400	○ 基幹管路更新事業 2,229,700 <ul style="list-style-type: none"> ・配水幹線の更新事業 (φ200 ～ φ700 L = 2,265 m) ○ 基幹管路整備事業 940,500 <ul style="list-style-type: none"> ・事故・災害時の相互融通を目的とする大ブロック間の相互連絡管整備事業 (φ200 ～ φ500 L = 1,834 m) ○ 配水支管更新事業 3,445,200 【老朽管更新】 <ul style="list-style-type: none"> ・更新周期を超えた老朽配水支管を計画的に更新 (φ50 ～ φ200 L = 10,207 m) 【重要施設向け配水管の耐震化】 医療機関3施設 <ul style="list-style-type: none"> ・災害拠点となる行政機関や医療機関への配水支管を優先的に耐震化 (φ75 ～ φ200 L = 1,060 m) 【鉛給水管更新】 <ul style="list-style-type: none"> ・小口径管鉛給水管の更新 (φ50 L = 710 m) <p>《参考:基幹管路耐震適合率》 令和2年度末見込:66.7%⇒令和3年度末見込:67.4%</p>

(単位:千円)

施策等		事業費	事業の概要
持続	経営基盤の強化	645	○ 水道事業経営審議会の効果的運用 645
	戦略的な広報及び お客さまの意見・要 望の把握	43,792	○ 戦略的な広報の実施 41,562 ○ お客さまアンケートの実施 1,905 ○ 水道モニター制度の運用 325
	放射性物質を含む 浄水汚泥の適切な 管理と情報提供	201,111	○ 浄水汚泥(200Bq/kg以下)の有効利用 201,111
	技術・知識を有する 人材の確保と育成	4,526	○ 各種研修の実施 4,526